

。○。○。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2016. 2. 22

下水道機構の『新技術情報』 第224号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。○。○。

今朝のTVニュースで桜の開花予想を放送していました。東京は3/26だそうで、全国的に今年は開花が早いそうですよ(*^_^*)楽しみですね♪

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第224号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・2月の技術サロンは、当機構 技術評価部長兼企画部長の渡邊 聡を講師として開催しました

■機構の動き

・今週は、2/22(月)に管路技術共同研究委員会を、2/26(金)に下水道新技術研究発表会@大阪を開催します

■Tea Break

・出産 (研究第一部 ペンネーム ぽっちゃりさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

・今日のゆいまーるは、東京都調布市の深大寺さんぽをお届けします♪

■国からの情報

・2/19付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。○。○。○。

●2月の技術サロンは、当機構 技術評価部長兼企画部長の渡邊 聡を講師として開催しました

今回のテーマは「下水道機構の審査証明事業の紹介と新たな取り組みについて」でした。

審査証明については、多くの地方公共団体に新技術を採用する際の参考資料として活用されている一方で、その位置付けが十分理解されていないという面もあり、その制度の概要などについて正しく理解していただくことや、更なる有効活用を図るための下水道機構の新たな取り組み等をご紹介することを目的として今回のセミナーで取り上げました。

講演内容は、建設技術審査証明（下水道技術）について、審査証明の概要から始まり、手続きの流れ、これまでの実績と平成 27 年度の状況等に加え、新しい審査証明方式である「基準達成型」について講演いたしました。基準達成型審査証明は平成 27 年度に創設したもので、下水道機構が評価項目や試験方法、要求性能等を示し、その確認を行う審査証明方式となっています。これまでの開発者が自ら開発目標や審査方法を設定する「開発目標型」に比べ、ユーザーにとってよりわかりやすく新たな技術の導入が可能となる評価基準として期待されます。

今後は、適切な活用促進のための手引きの作成や当機構が行う共同研究との連携等により審査証明技術の一層の充実を図ってまいります。

さて、次回のサロンは、3月10日（木）17:00から18:00での開催となります。ゲストに国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課の本田企画専門官をお迎えして、「下水道の事業執行支援の方策について」をテーマに開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております！お申し込みは機構ホームページから
→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

機構の動き （機構の行事予定です）

- 日 時：平成 28 年 2 月 22 日（月） 13：30～17：00
行 事：平成 27 年度 第 3 回管路技術共同研究委員会
場 所：下水道機構 8 階 特別会議室
案 件：(1)下水道管路施設へのフラッシュゲートの適用に関する共同研究（継続）
(2)マンホールポンプの長寿命化等に関する共同研究（継続）
(3)ボルテックスバルブに関する共同研究（継続）

- 日 時：平成 28 年 2 月 26 日（金） 13：00～16：45（受付 12：30～）
行 事：第 21 回下水道新技術研究発表会【大阪会場】
場 所：大阪市西区 大阪科学技術センター
プログラム：

<http://www.jiwet.or.jp/wp/wp-content/uploads/2013/02/80a8c8070530924897de9c76fd17b88d.pdf>

※お申し込みはこちら⇒ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop/workshop-form>

○平成 28 年 3 月 10 日（木） 17:00～18:00

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

*/**/*

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション (2016. 2. 19 付 国からの最新情報です)

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 本田康秀

=====

★★★★★ ラインナップ ☆☆☆☆☆

●愛知県東海市「100mm/h 安心プラン」に登録【国土交通省】

○国土交通省災害・防災情報 (<http://www.mlit.go.jp/saigai/index.html>)

=====

●愛知県東海市「100mm/h 安心プラン」に登録【国土交通省】

国土交通省は、愛知県東海市から申請のあった「東海市大田川流域における浸水対策推進プラン」を、2月16日に「100mm/h 安心プラン」として登録しました。今後、大田川流域では河川や下水道等のハード対策と住民への啓発等のソフト対策が一体的に促進されます。平成25年度の創設以来、各地の浸水対策を「100mm/h 安心プラン」に登録しており、今回の東海市大田川流域で18件目になります。

※100mm/h 安心プラン：河川管理者及び下水道管理者による河川と下水道の整備に加え、住民（団体）や民間企業等の参画のもと、浸水被害の軽減を図るために実施する取組を定めた計画

（報道発表資料）

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo05_hh_000009.html

<http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo05_hh_000009.html>

（実施する取組を定めた計画）

<http://www.mlit.go.jp/river/kasen/main/100mm/>

<<http://www.mlit.go.jp/river/kasen/main/100mm/>>

=====

◆下水技術 アジアに紹介 政府・自民、受注増へ補助金 〈2/17 日本経済新聞〉

http://www.nikkei.com/article/DGKKASGF12H1F_W6A210C1PP8000/

◆Watch Your Steps! 〈1/28 NHK WORLD〉

（デザインマンホールに関するショートエッセイ）

<http://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/life/eyesopen/160128.html>

◆マンホール蓋に八幡製鉄所旧本事務所〈2/10 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/kyushu/news/20160210-0YS1T50038.html>

◆豪雪地で挑む エコな融雪〈2/18 新潟日報〉

<http://www.niigata-nippo.co.jp/news/local/20160218235819.html>

◆全国初の藻類培養施設が稼働 佐賀市、下水からCO2回収〈2/18 佐賀新聞〉

<http://www.saga-s.co.jp/news/saga/10101/280031>

◆横浜ウォーター、下水道事業でJICAの技術協力プロジェクトを受託〈2/17 日刊ベトナムニュース〉

<http://www.viet-jo.com/news/nikkei/160216030235.html>

◆汚泥燃料の出荷を開始 県下水処理場〈2/16 中日新聞〉

<http://www.chunichi.co.jp/article/shiga/20160216/CK2016021602000017.html>

◆汚水オゾン処理施設、スリランカへ 帯広のヒューエンス開発〈2/13 北海道新聞〉

<http://dd.hokkaido-np.co.jp/news/area/doto/1-0234116.html>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20151030/>
